

「もしも」の水害に備える

6月から10月までは、集中豪雨や台風による洪水や土砂災害が発生しやすい時期です。水の影響から自分自身や大切な人を守るためには日頃の備えがとても重要です。身の回りで起こりうる災害の危険性や、取るべき避難行動を前もって確認しましょう。【問】危機管理防災課 ☎ 603-8031

事前準備 「もしも」に備える3つのPointをお知らせします。

Point

1

地域の危険性を知ろう

自宅はもちろん、勤務先や学校がある場所の危険性や想定される災害を「盛岡市防災マップ」や「もりおか便利マップ」で確認しましょう。



盛岡市防災マップ

平成30年に各家庭に配布し、市ホームページでも公開しています。自宅や勤務先、学校がある場所、いつも通るルートなどを確認しましょう。色が塗られていなくても、川や崖の近くに住んでいる人は避難情報を参考に必要に応じて避難しましょう。



もりおか便利マップ

インターネット上の地図で洪水・土砂災害ハザードマップや、火山・地震危険度マップ、指定避難所などを確認できます。



▶ 諸葛川などの洪水浸水想定区域について

令和4年3月22日に、諸葛川と木賊川、芋沢川（矢巾町）の洪水浸水想定区域が指定されました。区域図は岩手県ホームページで確認できます。市では今後、市ホームページやもりおか便利マップへの掲載を予定しています。



Point

2

情報収集の手段を知ろう

安全に避難するために、気象情報や川の水位の情報収集の方法を確認しておき、気象などの正しい情報を把握しましょう。

● テレビのデータ放送

NHKではリモコンのdボタンを押すと、河川の水位などが確認できます。

● 緊急速報メール(エリアメール)

気象庁などが配信する「特別警報」「洪水警報」や市が配信する「避難情報」などを、対象エリアの携帯電話・スマートフォンに一斉に送信します。

● ラジオもりおかの自動割り込み放送(盛岡地域など)

緊急時には通常の放送に割り込みし、避難情報などを提供しています。

● 防災行政無線(玉山地域のみ)

屋外に設置しているスピーカーや、戸別受信機で伝えます。

● Yahoo! 防災速報アプリ

避難情報や豪雨予報など、市の災害に関するさまざまな情報を確認できます。



● いわてモバイルメール

メールアドレスを登録することで、気象情報や避難情報が携帯電話やスマートフォンなどに配信されます。岩手県で運用しているものを活用し、市からも情報を配信しています。



● 市ホームページ

避難時の行動や各種災害への備えなどを確認できます。避難所の開設状況などもお知らせします。

● 市公式Twitter

避難情報などをお知らせします。

● 気象庁「キキクル」

雨による災害の危険度を5段階で色分けして、地図上にリアルタイムで表示します。



● いわて防災情報ポータル

気象情報や避難情報、避難所の開設状況などを確認できます。

● 岩手県河川情報システム

川の水位が確認できます。



● 岩手県土砂災害警戒情報システム

土砂災害警戒情報や土砂災害危険度情報などを確認できます。



Point

3

避難情報や避難行動を確認しよう

市からの避難情報の種類や警戒レベル、状況に応じた避難行動を確認しておき、いざという時にすぐに動けるようにしましょう。万が一の災害に備え、一人一人がどのタイミングでどのような行動をとるかを整理したオリジナルの避難行動計画「マイタイムライン」を作成しておくことで安心です。作成例を参考に、前もって作成しましょう。

指定緊急避難場所と指定避難所

「指定緊急避難場所」は、災害の危険から緊急的に逃れるために指定された場所です。一方、「指定避難所」は、避難した人が浸水や土砂崩れなど災害の危険性がなくなるまで一時的に滞在する場所で、災害発生時の恐れが高い地域から順次、開設します。災害発生時は、市ホームページやテレビなどで、避難所開設状況を確認しましょう。

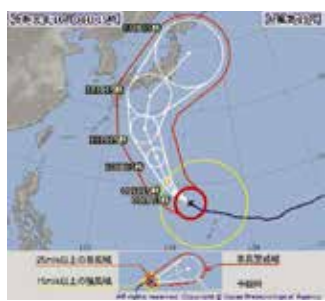


警戒レベル

1

情報収集

今後の気象状況が悪化する恐れがあるため、情報に注意する。



出典:気象庁ホームページ

取るべき行動

災害の心構えを高める

防災気象情報や気象庁の「早期注意情報(警報級の可能性)」などの最新情報に注意し、災害への心構えを高めましょう。



警戒レベル

2

避難準備

気象状況が悪化している状況。

洪水▶ 氾濫注意情報
土砂▶ 大雨注意報



盛岡市防災マップ

自らの避難行動を確認する

気象情報などを確認しながら避難する場所や避難経路、情報の入手手段、避難のタイミングの再確認などをしましょう。また、避難時の荷物をすぐに持ち出せるよう準備しましょう。



警戒レベル

3

高齢者等避難

川の急激な増水など、災害の恐れがある状況。

洪水▶ 氾濫警戒情報
土砂▶ 大雨警報



指定避難所の一例

危険な場所から高齢者などは避難

高齢者など避難に時間がかかる人は避難します。普段から相談し、親戚や知人宅で安全な場所がある場合はそこに避難しましょう。避難先がない場合は、開設している市の指定避難所などに避難しましょう。



警戒レベル

4

避難指示

橋の下まで水が迫っているなど、災害の恐れが高い状況。

洪水▶ 氾濫危険情報
土砂▶ 土砂災害警戒情報



松川(鵜飼橋) (平成28年8月)

危険な場所から全員避難

近所に逃げ遅れがないか声を掛け合い、避難しましょう。



警戒レベル

5

緊急安全確保

水が堤防を超えてくるなど、災害発生または切迫している状況。

洪水▶ 氾濫発生情報
土砂▶ 大雨特別警報



繋地区(平成25年8月)

命の危険 直ちに安全の確保を

すでに安全な避難ができない命が危険な状況です。建物の上階や崖から離れた部屋に移動しましょう。



防災気象情報と5段階の災害警戒レベル

気象情報や避難情報は、全国共通の5段階の警戒レベルに合わせて提供されます。身の危険を感じる場合は、早めの避難行動を心掛けましょう。

レベル4
までに
全員避難!



マイタイムライン

作成例

- テレビやインターネットで気象情報をチェック
- 非常時持ち出し品や家庭内備蓄の確認
- 感染症対策としてマスクやアルコール消毒液なども準備
- 1週間分の薬を病院・薬局に受け取りに行く
- 家族全員の今後の予定を確認

- ハザードマップなどで避難する場所や、避難経路を再確認
- 川の水位や通行止め情報などをテレビやインターネットで確認
- 携帯電話・スマートフォンの充電を確認
- 安全な場所にある親戚・知人宅に避難が可能か確認



- メールなどで「高齢者等避難」を受信
- 川の水位をテレビやインターネットで確認
- 家族と連絡を取り、居場所を確認
- テレビやインターネットで指定避難所の開設状況を確認
- 避難に時間がかかる人は早めの行動を

- メールなどで「避難指示」を受信
- 開設している指定避難所や親戚・知人宅への避難を完了する
- 川の水位をテレビやインターネットで確認



- 身の安全を確保する。命を守る行動を最優先に
- 逃げ遅れた場合、近くの浸水が想定されない場所で身の安全を確保する

